

# いのちの言の葉2011

富山県教育委員会平成23年度いのちの教育総合支援事業

## 「山岳警備隊員として感じたこと」 -命の尊さ・自然のすばらしさ-

立山町立釜ヶ淵小学校

平成23年7月20日実施

### 【いのちの先生】

梶田 正先生

・前富山県警山岳警備隊隊長

#### 【授業の概要】

- 1 ザイルとピッケル
- 2 命がけの遭難救助活動
- 3 命の尊さ
- 4 登山の魅力

梶田先生は、富山市立樫尾小学校（平成23年11月10日）や上市町立南加積小学校（平成24年2月1日）においても、いのちの授業をされました。

ぼくは、今日、梶田さんの話を聞いて、山岳警備隊とは、とても危険なんだと思いました。そして、ぼくは、今まで、自分の命は自分のものなんだから、何をするのも、自分の勝手だと思っていたけど、今日の梶田さんの話を聞いて、命は自分のものだけど、それを勝手にしてはいけない、父さん、母さんが一生けん命育ててくれたんだからと思いました。

今日は、命について、教えてください、ありがとうございました。梶田さんの話を聞いて、この仕事は、本当に心から感謝していないとできない仕事だと思うし、人を助けたいという気持ちがあればこそできる仕事だと思います。だから、命を大切にしようという気持ちがいっぱいになったし、とても感謝したいなあと思いました。本当にありがとうございました。

〇〇へ

梶田さんの話を聞いて「いのち」の大切さを感じとってくれてうれしいです。

いのちは、一つしかない。

いのちは、捨うことができない。

いのちは、自分だけのものではない。

いのちは、先祖からいただいたもの。

そして、未来へつないでいく、、、

お母さんが、梶田さんの話を聞いて心に残った言葉です。〇〇が生まれた時、おじいちゃんも、おばあちゃんも、お父さんも、お母さんも、みんな喜びました。今まで、命を大切にしてくれてありがとう。そして、これからもずっと自分を大切にしてくださいね。  
母より（南加積小 母から児童への手紙）

今日のいのちの授業で、私は、遭難した人たちの命を自分の命を危険にさらしてまでも救うお仕事をされていたと聞いて、私だったら、自分の命を危険にさらしてまでも、ほかの人の命を助けることはできないと思いました。そのようなお仕事を、梶田先生は41年間もされていて、とてもすごいと思いました。私も、立山に登ったことがあるけど、自分の荷物だけで精一杯で、40kgもの荷物を運んでおられた梶田先生は、すごいと思いました。梶田先生の「命は一度おとすと、もう二度と捨うことはできない」と言う言葉を聞いて、今まで以上に命を大切にしたいと思います。今日は本当にありがとうございました。（樫尾小児童の感想）

